

<h1>第 390 回 月例会概要</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	記録
	企画運営委員長 保 科	企画運営委員 江 口

- ◎ 日 時：2026年3月27日（金）13時30分～16時30分
- ◎ 場 所：対面（きゅりあん）＋リモート開催
- ◎ 出席者：8名（法人会員名4社4名、個人会員4名、他0社0名）

1. 開会挨拶

13：30～13：40 企画運営委員長 保科 修一 氏

- ・コンプライアンス宣言、トピックス他
- ・統合後の活動は、研究課題を見つけて議論し、取り組んでいく方針で進める旨の説明があった。
- ・会場は従来の中会議室から、議論しやすい小会議室（定員20名）へ変更した。
- ・今後は、毎月第3金曜日にきゅりあんを確保しており、月例会以外にも打合せ等で活用できる旨の案内があった。
- ・会議に当たり、人権尊重、著作権配慮、情報漏えい防止の3点を確認した。

2. 近況報告「自身の活動に対する昨年の反省と今年の抱負」

13：40～14：40 参加者全員

- ・参加者から、所属、業務内容、安全分野との関わり、昨年の活動の振り返り及び今年の抱負について報告があった。
- ・リスクアセスメント、ロボット安全、製品設計、ソフトウェア開発、安全支援ツールの提供など、多様な立場からの活動紹介があった。
- ・リスクアセスメントの見積りや評価のばらつき、不確かさへの対応が共通の課題として挙げられた。
- ・研究委員会では、安全確認型、リスクアセスメント、国際規格の勉強を主要テーマとして進める方針が共有された。
- ・WEB参加者からは、チャットにて報告も行われた。

3. 課題説明「実践、安全確認型システムによるリスク低減」

14：40～14：50 企画運営委員長 保科 修一 氏

- ・前回の卓上ボール盤のリスクアセスメントを踏まえ、本日の課題説明があった。
- ・新たなガードを適用しない使用制限設定でリスク低減を検討することとした。
- ・課題討議及び実習を通じて、安全機能及び安全回路の考え方を確認することとした。

4. 課題実習「卓上ボール盤の安全機能・安全回路の設計」

14：50～16：00 参加者全員

- ・卓上ボール盤を題材に、安全機能及び安全回路の設計について説明があった。

- ・ 起動インターロック及び再起動インターロックの考え方が示された。
- ・ 安全確認型では、高いエネルギー（制御電源）又は安全確認信号が成立したときに起動を許可する考え方について説明があった。
- ・ タイミングチャート及び回路図の重要性について説明があった。
- ・ 図を用いる説明や実習では、対面開催が不可欠との意見があった。

5. 課題討議「安全回路設計と安全革命によるリスク低減の考察」

16:10~16:20 参加者全員

- ・ 安全回路設計の内容を踏まえ、安全革命への反映方法について討議を行った。
- ・ リスク低減方策としての起動インターロックの記載方法について意見交換があった。
- ・ 今後の研究及び講習への展開について意見が出された。
- ・ 本日の検討により、起動インターロック、再起動インターロック、安全確認型、タイミングチャートの重要性を整理できたとの総括があった。
- ・ 本日の内容は、今後の研究活動及び講習内容に活用していく方針が示された。

次回月例会は4月第3金曜日に、同じ会場で開催予定である旨の案内があった。
今後の詳細案内は別途連絡することとした。

6. 閉会挨拶「次回開催案内、他」

- ・ 第391回月例会は、4月17日(金)13時30分~16時30分：きゅりあん対面+リモートで開催
- ・ イラン情勢による日本国内への影響を考慮し、技術懇談会（観桜会）は中止

月例会説明資料：ホームページ内の会員専用ページにて掲載

以上